

破産
三セク

再生に行政関与せず

宝塚外部委が最終報告

阪急逆瀬川駅前の複合商業ビル「アピア1」「アピア2」を運営する宝塚市の第三セクタ「宝塚まちづくり」の破産問題を調査していた同市の外部委員会は9日、「今後の再生は区分所有者らの自助努力に委ねるべき」とする最終報告書を発表した。「行政は個々の

商業活動に関与するものではない」と指摘し、まちづくり社が持っていたフロアを引き継いだ新会社にも関与すべきではない、と結論づけた。

公認会計士や有識者らからなる外部委は今年10月、市や区分所有者、まちづくり社のそれぞれに破産原因があつたと分析し、中間報告を発表。外部委はその後、両ビル再生に向けた市のかかわり方を検討していた。市は「報告書の内容を受け止め、破たん原因などを何らかの形で市民に説明したい」としている。

【山田奈緒】